

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年11月14日(月)～平成28年11月20日(日)〔平成28年第46週〕の感染症発生状況

第46週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は19.58人と前週(16.36人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.78人と前週(2.33人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.83人と前週(1.67人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



～インフルエンザの流行にご用心！～

インフルエンザは、冬季の代表的な呼吸器感染症です。例年12月頃から流行が始まり、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状を特徴とします。川崎市においては、今年は例年と比べ流行開始が早く、第46週(平成28年11月14日～11月20日)の定点当たり患者報告数が1.23人となり、流行開始の目安である1.00人を超えました。流行期に入りましたので、感染には十分気を付けましょう。

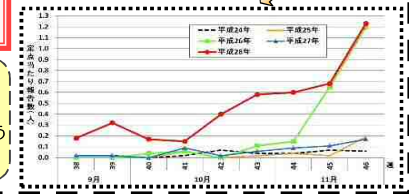
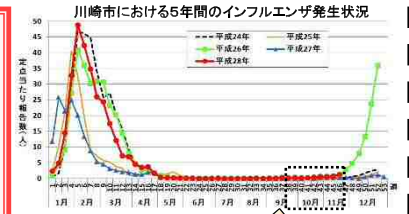
インフルエンザにかからないために

1. ワクチン接種
2. 咳エチケット
3. 外出後の手洗い
4. 適度な湿度の保持
5. 十分な休養とバランスのとれた食事
6. 人混みや繁華街への外出を控える



咳エチケットとは…？

- ・ 咳やくしゃみの症状のある方は、マスクを着用
- ・ 咳やくしゃみの際は、口と鼻をティッシュで覆う
- ・ 鼻汁や痰を含んだティッシュはすぐに捨てる



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター (問い合わせ先) 044-276-8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年11月21日(月)～平成28年11月27日(日)〔平成28年第47週〕の感染症発生状況

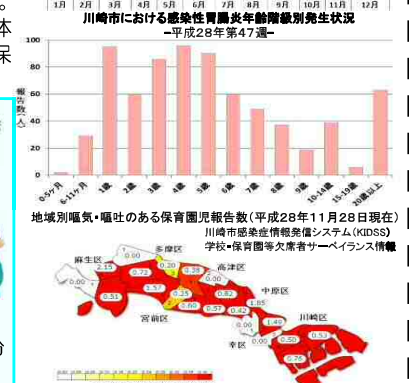
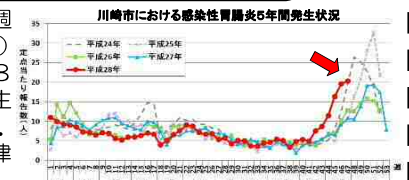
第47週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は20.31人と前週(19.58人)から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週(1.83人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.78人と前週(2.78人)から減少し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

～感染性胃腸炎流行発生警報発令！～

川崎市において、感染性胃腸炎の第47週(平成28年11月21日～11月27日)の定点当たり患者報告数が前週の19.58人から増加し20.31人となり、流行発生警報基準値(定点当たり患者報告数：20.00人)を超えました。特に、川崎区、高津区、宮前区からの報告が多くなっています。年齢階級別では1歳～5歳の小児が全体の58.4%を占めており、嘔気・嘔吐で保育園を欠席するお子さんも増えています。

感染性胃腸炎について

病原体 ウィルス、細菌など
 ※毎年11月～1月にノロウィルスを原因とした胃腸炎がピークを迎えます。
《ノロウィルスについて》
感染経路 経口感染
潜伏期間 24～48時間
主な症状 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱
 ※特に子どもや高齢者は水分と栄養の補給を十分にを行い、体力を消耗しないようにしましょう。



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター (問い合わせ先) 044-276-8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年11月28日(月)～平成28年12月4日(日)【平成28年第48週】の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は24.42人と前週(20.31人)から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.80人と前週(1.60人)から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.11人と前週(1.78人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



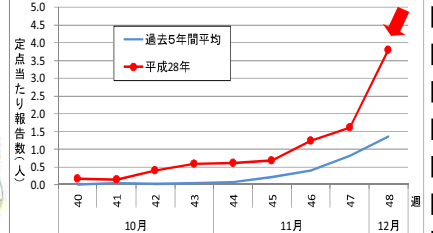
例年より早い立ち上がり～インフルエンザと感染性胃腸炎～

インフルエンザ

10月中旬から患者報告数が増加し、例年より早い時期の第46週(平成28年11月14日～11月20日)に流行シーズンに入りました。

今シーズン、健康安全研究所に搬入されたインフルエンザの検体からは、△香港型が多く検出されています。また、患者報告数の増加とともに、インフルエンザによる入院患者報告数も多くなっています。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況
- 平成28年と過去5年間平均の比較 -

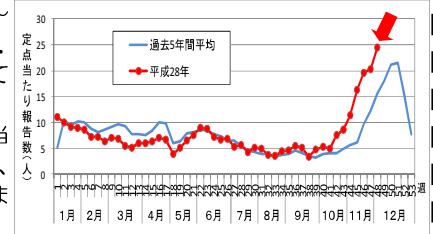


感染性胃腸炎

第48週(平成28年11月28日～12月4日)の定点当たり報告数が24.42人となり、前週から大幅に増加しています。

引き続き流行発生警報基準値(定点当たり20.00人)を超えていますので、予防対策(手洗いなど)の徹底に努めましょう。

川崎市における感染性胃腸炎発生状況
- 平成28年と過去5年間平均の比較 -



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター (問い合わせ先) 044-276-8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年12月5日(月)～平成28年12月11日(日)【平成28年第49週】の感染症発生状況

第49週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は24.78人と前週(24.42人)から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は3.53人と前週(3.80人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.44人と前週(3.11人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



年末年始に海外旅行へ出かける方へ～麻しん(はしか)対策～

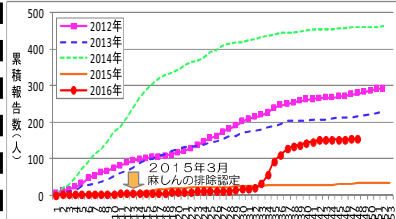
年末年始のお休みを利用して海外旅行に行かれる方も多いかと思います。海外では、通常国内では感染しないような病原体に感染する可能性があります。予防接種を受けることで感染症にかかるリスクを下げることができます。

特に「麻しん」は、アジア・アフリカ諸国で、いまだに多数の患者報告があります。麻しんにかかったことがない方や、予防接種を2回受けていない方が流行国へ行かれる場合は、十分ご注意ください。
 ※可能であれば麻しん含有ワクチンの接種をおすすめします。

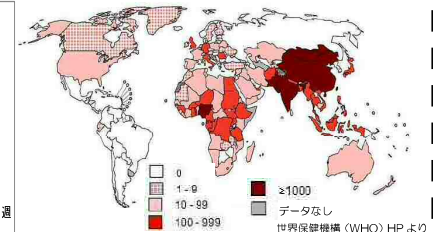
麻しんの特徴

感染経路: 空気感染、飛沫感染、接触感染
潜伏期間: 10～12日(最長21日程度)
主な症状: 発熱、咳、鼻水など風邪のような症状で始まり、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

全国における麻しん累積報告数
- 2012年から2016年第48週まで -



各国の麻しん報告数
- 2016年4月から2016年9月まで -



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター (問い合わせ先) 044-276-8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年12月12日(月)～平成28年12月18日(日)【平成28年第50週】の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は25.42人と前週(24.78人)から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.02人と前週(3.53人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.00人と前週(2.44人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

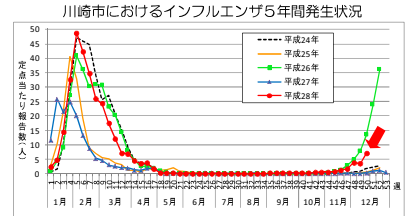


インフルエンザの勢い増す！

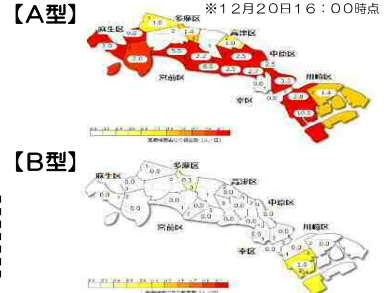
川崎市において、インフルエンザの第50週(平成28年12月12日～12月18日)の定点当たり患者報告数が前週の3.53人から7.02人と倍増しました。平成26年の増加傾向と類似しています。

本市のリアルタイムサーベイランスによると、現在、A型インフルエンザの報告数が多くなっています。

市内でもインフルエンザによる学級閉鎖が続いており、年末にかけて患者数が急増する可能性がありますので、手洗いや咳エチケット(マスクの着用)を徹底しましょう。



川崎市におけるインフルエンザ5年間発生状況
 川崎市感染症情報発信システム(KIDSS) インフルエンザのリアルタイムサーベイランス地図情報 (平成28年12月19日報告分) ※12月20日16:00時点



川崎市 KAWASAKI CITY

発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター (問い合わせ先) 044-276-8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年12月19日(月)～平成28年12月25日(日)【平成28年第51週】の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は19.28人と前週(25.42人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は12.33人と前週(7.02人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.78人と前週(3.00人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

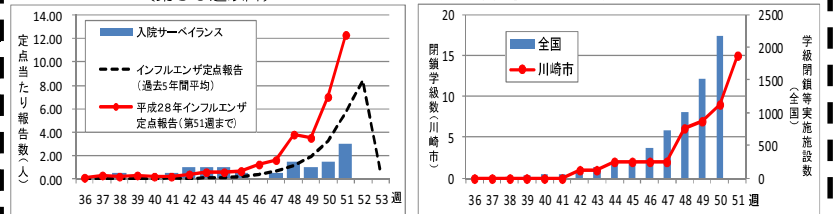


インフルエンザ流行発生注意報発令！

川崎市では、インフルエンザの第51週(平成28年12月19日～12月25日)の定点当たり患者報告数が12.33人となり、流行発生注意報基準値(定点当たり10.00人)を超えたため、市内に流行発生注意報を発令しました。

インフルエンザの患者報告数が増えるとともに、入院サーベイランスの定点当たり報告数や市内におけるインフルエンザによる学級閉鎖報告数も増えています。年末年始にかけて、予防対策(咳エチケットや手洗いなど)を心がけましょう。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況(第36週以降) 学校等におけるインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等実施状況(第36週以降累積報告数)



学校保健安全法での取り扱い：インフルエンザによる出席停止期間の基準は、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまでです。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。

川崎市 KAWASAKI CITY

発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター (問い合わせ先) 044-276-8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

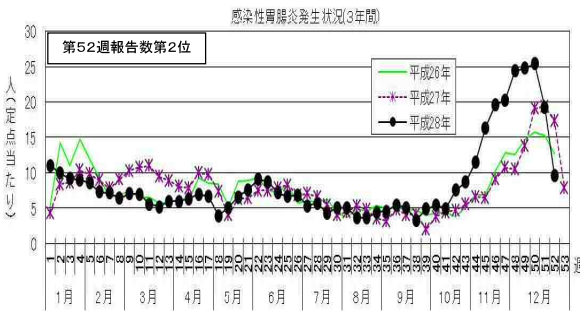
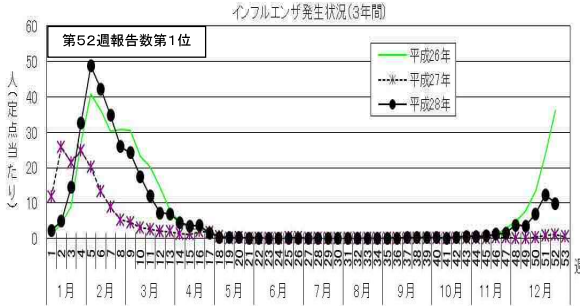
平成28年12月26日(月)～平成29年1月1日(日)〔平成28年第52週〕の感染症発生状況

第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は9.95人と前週(12.33人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.61人と前週(19.28人)から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.75人と前週(2.78人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



今こんな病気が流行しています！！

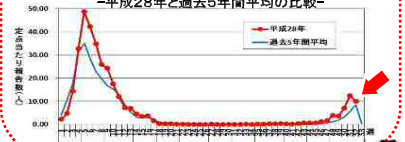
年末年始は多くの医療機関が休診であったことから、各疾患の患者報告数が減少しましたが、咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎の患者数は増加がみられています。

また、インフルエンザは定点当たり患者報告数が9.95人と流行発生注意報基準値(定点当たり10.00人)を下回りましたが、入院サーベイランスは定点当たり患者報告数が4.00人で重症の患者が増加しています。

インフルエンザ

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れ、風邪と同様に、のどの痛み、鼻汁、咳等がみられます。

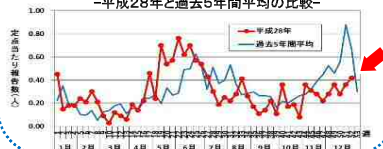
川崎市におけるインフルエンザ発生状況
-平成28年と過去5年間平均の比較-



咽頭結膜熱

発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭炎、結膜炎等がみられます。また、高熱が比較的長く(5日前後)続くこともあります。

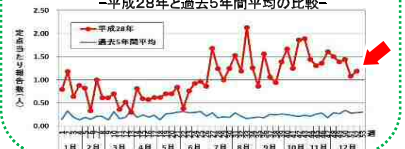
川崎市における咽頭結膜熱発生状況
-平成28年と過去5年間平均の比較-



流行性耳下腺炎

両側又は片側の耳の下の腫れや痛み、発熱等がみられます。また、3割程度は感染しても症状が出ない(不顕性感染)と言われてています。

川崎市における流行性耳下腺炎発生状況
-平成28年と過去5年間平均の比較-



川崎市
KAWASAKI CITY

発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所保健福祉センター
(問い合わせ先) 044-276-8250

川崎市感染症情報センター事業報告書

2018年2月発行

川崎市健康安全研究所 感染症情報センター担当

〒210-0821

川崎市川崎区殿町3-25-13川崎生命科学・環境研究センター2階

TEL 044-276-8641 FAX 044-288-2044

E-mail : 40eiken@city.kawasaki.jp

